



2009～10年度テーマ 広げよう！ プロバスクラブの楽しみの『環』

第 165 回例会・臨時総会

日時：平成 21 年 7 月 9 日 (木) 12:30～15:30

場所：八王子エルシィ

出席者：55名、出席率86%（会員総数67名、内休会3名、）

1. 宮城例会委員長の司会で定時に開会
2. 会食
3. 下山会長挨拶・新年度運営方針



皆さんこんにちは。我がプロバスクラブは、14年目を迎え、その歴史に相応しく、諸活動は充実・定着し、日本の中でも屈指の充実したクラブと考えてよいと思います。そのような中であって、ク

ラブ会員は相応しい楽しみと充実感を持ち、会員である事を誇りとしながら、各人が役割を分担して運営されています。しかしながら日本一としてはやや不満足な所もあります。

そもそもクラブの活動は、会員の親睦と地域社会に対する奉仕に大別されますが、現状ではいろいろの活動のため月一度の例会で諸連絡事項が多く、卓話や自由な会話などの時間が不足し勝ちです。同好会は5つありますが、何れにも所属できない方もあり、同好会を通しての親しい仲間作りも十分とは言えないでしょう。より豊かなクラブ・ライフを求めて、皆で楽しみと充実感を分かち合えるクラブになるよう、今一歩高められないかと考えています。日本の中で先行するクラブとして、あんなプロバスクラブでありたいなどお手本にされるクラブへ育てましょう。

スローガン

広げよう！プロバスクラブの楽しみの『環』

- I. 近隣クラブ、友好クラブなどとの『環』を更に広げよう。
- II. 会員及び支援して頂いた諸氏、友好の仲間、皆で15周年を祝う記念事業を準備しよう。

- III. 会員同士で楽しみを分かち機会を増やそう。
- IV. 地域近郊への発信を強めよう。
- V. 規約見直し改定を考える。（不明確な点の明確化、ホームページ担当の充実など）

次に各委員会への期待ですが、お配りした資料がありますので省略いたします。

4. 臨時総会

恒例により下山会長が議長に選出され、議長は書記に川村真会員、議事録署名人に大串延子会員、野末孝雄会員を指名し、次のとおり審議をおこなった。

第I号議案 2008～2009年度

一般会計 決算報告

第II号議案 2008～2009年度

活動準備資金特別会計報告

第III号議案 第13回

生涯学習サロン特別会計決算報告

以上3案が一括上程された。矢崎前幹事より資料をもとに報告がなされた。以上につき質疑を行ったところ、濱野会員よりサロンの特別会計・繰越金は本会計に戻すべきではないかとの指摘がなされた。矢崎前幹事よりその理由に付き説明がなされ了承された。つぎに吉田会員より第I号議案のうち予備費より本部活動費に振替えられた金額の内容について質問があった。矢崎前幹事より内訳の説明がなされ了承された。

つづいて平、広瀬両会計監査より監査結果につき適正かつ正確であるとの報告があった。

以上3議案につき挙手により採決を求めたところ異議無く了承、承認された。

議長は引続き以下の2議案を一括上程した。

第IV号議案 2009～2010年度

一般会計予算書（案）

第V号議案 2009～2010年度

活動準備資金特別会計予算書（案）

上記について荒幹事より詳細に説明がなされた。質疑にうつり、澤渡会員、宮崎会員より繰越金の表示について意見が出され、幹事および議長より表示の理由の説明がなされた。また、立川会員より全日本プロバスクラブに関しての活動費について説明があった。議長は全員に上記2案につき諮ったところ賛成多数で原案通り承認された。議長はすべての議案の審議がなされたので閉会を宣した。

5. ご来賓紹介・ご挨拶、助成金の授与 東京八王子南ロータリークラブ

会長 山下正昭様

幹事 森田貢士様

24代目の会長の山下です。昨日は下山会長、荒幹事、山崎交流担当理事のご出席有難うございました。

まずプロバスクラブの人数が多いのにびっくりいたしました。生涯学習サロンにも参加させていただき、大変大きな活動をなさっていると感心いたしました。私ども南ロータリーは来年25周年になります。プロバスクラブも15周年を迎えることと存じます。なにかの機会に一緒にできればうれしいなと思っています。宜しく願いいたします。以上のご挨拶をいただきました。



引き続き山下会長より下山会長にプロバスクラブへの

助成金の授与がなされた。

6. 幹事報告（荒幹事）

(1) 会員動向 総数67名。休会3名



(2) 平文夫会員が明日をもって退会なされます。

(3) 長谷川会員が6月末付けで退会されました。長谷川会員は中国・チベット方面にバイクで旅行をするそうですが、たびたびの長期に亘る休会と言うこともありこのたび退会することになりました。

(4) 本日は、新年度上半期の会費と活動準備資金を徴収いたしました。

(5) 当期の各委員会構成表を配布しました。この人事は6月18日の理事会で決めました。

7. 各委員会報告（活動方針、他）

(1) 例会委員会 宮城委員長



本日出席は55名、実働64名、出席率は86%です。

「心の中に満足を」をモットーに例会を有意義なものにするよう頑張っています。また、食事の内容にも気を配ってバラエティーにとんだ美味しい食事をエルシさんと協力して検討いたします。また無断欠勤をなくして無駄を省きたいと思いますので、欠席するときには必ず所属の委員長にその旨報告をお願いいたします。例会委員会としては「迅速丁寧な運営」を心掛けていきたいと思ひます

(2) 情報委員会 竹内委員長



メンバーに情報を「広く、正しく、速やかに」をお願いいたしました。12名にそれぞれ役割を分担していただきました。投稿など、よろしくご協力お願いいたします。

(3) 会員委員会 岡本委員長



会員委員会だけでなく皆様のご協力をいただいですばらしい会員を一人でも多く勧誘していただきますようお願いいたします。

(4) 研修委員会 佐々木委員長



先輩諸氏の蓄積された経験を卓話等に活かしていただき、また野外研修の実施、特別研修の開催など内容の一層の充実に励みたいと思ひます。会員同士で楽しみを分かち合う機会を増やすために新規の同好会を増やしていく仕掛けを考え、お手伝いしていこうと思ひます。次の例会には私どもも提示いたしますが、皆様の新しいアイデアをいただいて新しい同好会を立ち上げてゆこうと思ひます。宜しくご協力のほどをお願いいたします。

(5) 地域奉仕委員会 堀口委員長



地域奉仕としては主な活動は生涯学習サロンの開催であります。サロンのテーマについてのアンケートを本日皆さんにお配りいたしました。8月の例

会にご提出お願いいたします。

(6) 交流担当 山崎理事

新しく組織のなかに加わりました交流担当です。第一は全日本プロバス協議会立川副会長が動き良いように補佐すること。第二に新人とか友好クラブに楽しみの『環』を広げるような活動をする事です。第三は南ロータリークラブ、市民活動協議会の窓口になることでもあります。今年度は11月16日(月)に全日本プロバス協議会の理事総会が八王子で開催されます。全国より16名の理事が集まりますので理事ならびにそれらのクラブとの交流を深める交流会を開催することにいたします。特に東日本のクラブより大勢の方に参加していただき交流会を持ちたいと考えております。今年の理事は全員15名でこの任に当たっていただきます。宜しく願いたします。8月には詳しい案内をいたします。

7月21日(火)18時30分より東急スクエア8階で「新型インフルエンザの背景」と題してガバナをされた坂本氏による講演が開催されます。ぜひ参加をお願いいたします。

8. 平会員退会のご挨拶

健康上の都合で退会することとなりました。今までの皆様のご厚情に心より感謝いたし、クラブの発展を祈念いたします。

9. 15周年事業準備会立ち上げの件

杉山副会長より実行委員会に先立ち以下の報告がなされた。

配布資料のとおり20名による準備会をスタートさせることとなりました。この経過については逐一例会にて報告してまいります。第一回会合を7月23日(木)12時30分よりエルシィにて開催いたします。

10. 同好会報告

①ゴルフ同好会(小林会員)9月25日(金)

相武カントリークラブにて行います。

②茶道同好会(竹内会員)7月14日(火)10時より「涼しさを楽しむ」と題して例会を行います。7~12月会費5000円の納付をお願いします。8月は

休会。

③囲碁同好会;なし

③歴史を肴に語ろう会;なし

④写真同好会;なし

1 1. その他 なし

1 2. 各委員会打ち合わせ

1 3. プロバスソング斉唱

1 4. 閉会挨拶 杉山副会長



今日は臨時総会と今期初めての例会と言うことで1時間延長しての例会になりました。今年一年プロバスに参加すると会話が、笑いが、また新しい発見がある、そんな一年となるよう積極的にご出席くださいますようお願いいたします。

投稿

「生涯現役」について

岩島 寛 会員



私は50代に入り定年が見え出てきた頃は悠々自適の生活に憧れていました。しかし、60歳がだんだん近づいて来るに従って、さて定

年退職した後どのように生きて行くべきかを考え始め、色々の人達の生き方を注意して見ていく中で、1人はキリスト教独立学園の榎本榎子先生、もう1人は映画監督の新藤兼人氏の生き方に強く惹かれるものがありました。

榎子先生は59歳になってから、あの雪深い東北のチベットと言われる山形県小国村に鈴木弼美先生(内村鑑三の愛弟子)が創設されたばかりのキリスト教独立学園高等学校に息子夫婦(榎本忠雄、華子)と共に行き、書道の教師として働くことを決断され、天に召された100歳まで生涯現役で生きられました。榎子先生のご主人榎本重一氏は三菱造船(現在三菱重工)の常務取締役であられた時(当時51歳)、1926年(大正15年)9月23日午前3時30分に起こった山陽本線列車脱線転覆事故で殉職されました。その時、内村鑑三に師事していた榎子先生(当時34歳)は断固としてキリスト教で立つと宣言されたのです。そして、内村からシュバイツァーのアフリカ伝道の話聞いて、未亡人としては破格のお金を託されます。1946年54歳の時に次男の榎本忠雄、華子夫妻と共に茨城での開墾生活に入り、その

後は前述の通りです。

一方、新藤兼人監督は広島で被爆した人ですが、妻である乙羽信子さんが癌に冒されているにも拘らず、お互いに生涯現役で生きることには深い意義を感じて、高齢者の介護に関する「午後の遺言状」と言う映画の監督と主演女優をやり通したのです。乙羽信子さんはその後亡くなられました。そして新藤監督は90歳に近い今もなお監督として頑張っておられます。この新藤監督の真実な生き方に何か感ずるものがありました。

そんな折、毎日新聞の「余禄」欄に漫画家の加藤芳郎氏が「悠々自適をしてごらん、5年もしたら惚けちゃうよ。世の中の女性、殊に、主婦がなぜ男性よりも平均寿命が長い。それは『あくせく自適』をしているからだ。」と書いているのを読んで、それまで「悠々自適」に憧れていた私はいささか迷い始めたのです。しかも、それが私の定年間際の頃で、それまで親会社から私に経営を任されていた子会社の一部(メディカル部門)を私個人として買取り、経営してみないかと言う晴天の霹靂のような話が舞い込んで来たのです。私とすれば、前述のように、生涯現役に対する憧れも少しずつ強くなってきていましたので、私のような技術屋で、融通性に乏しい者が果たして小なりと雖も会社の社長を務まるだろうか心配はありましたが、引気受けることにいたしました。家内からは、自分達が住んでいる土地と家だけは担保にしないで下さいと言われました。そして13年間何とか務め上げ、これからは会長として週2回出勤しようかと思っていたのですが、次期社長の娘婿から「一切私に任せてください。」と言われ、それでは生涯現役が貫けないではないかと一

時は戸惑いました。しかし、昨年6月末日をもって完全引退することを決断しました。

そして、10月に行われる次女の結婚披露宴の準備や先方(ドイツ人の本人とご両親)を迎え入れる準備等に奔走しました。また、家内がもう片方の脚の人工股関節全置換術を12月3日に受けるための準備の手伝い等を一生懸命やってきました。

そんなことをしている間に、「生涯現役」と言うことを考えて見ました。辞書を引きますと、「現役」

(active service) という言葉の意味として、① 現在軍務に服していること(者)

② 現在第一線で活躍していること(者)、

③ 卒業生、浪人に対して、在学中の者、と三省堂実用新国語辞典に書いてあり、広辞苑(岩波書店)もほぼ同じ解釈でしたが、金田一京助監修の明解国語辞典(三省堂)は①および③は同じですが、②について「現在社会で活動中であること」とありました。私はふと気が付きました。それは、「現在、自分以外の誰かのために何か役にたっていれば、現役である。」ということに。そして、それを生涯、死ぬまで続ければ、それが「生涯現役」なんだと。身内の例を引いて恐縮ですが、Kちゃんはそれを地で行っているじゃないか。自分の周りの人達を精一杯もてなして、その人たちが喜んでいてのを見て、本人もまた満足し、喜んでいて。これが「現役」なんだと。そして思いました。このように考えれば、全ての人が「生涯現役」で生きて行けるし、また、そのように生きることによって、認知症にもならないで、最後まで喜々として元気に生きて行けるじゃないか。義弟で児童精神科医の佐々木正美氏が話された「人間は人間関係の中に、自分の意味や価値を発見する」と言う言葉と「生涯現役」と言う言葉は一脈通じているなあ、また、プロバスはまさに「生涯現役集団」だ、と。

掲示板

・ 横浜グリークラブ(男声合唱団)
第14回定期演奏会
と き : 2009年9月13日(日) 14時開演
と ころ : 横浜みなとみらいホール(大ホール)
演奏曲目 : 「中勘助の詩から」 多田武彦作曲
「横浜グリークラブのための日本民謡」
「横浜グリークラブ愛唱歌集・熱き心に、野風増、Wind&Rosesほか」
入場料 : 1500円 詳細は八木啓充会員まで

編集後記 ;

新年度の情報委員会が発足しました。情報委員会一同交替制で、プロバスだよりをお届けします。皆様からの寄稿・投稿・ニュース・会員の活動等お願いします。

情報委員長